

愛

第1年学年 学年通心

R6.7.5 vol 12

厚〜い話

今日は仙台育英高校須江監督の愛知県での講演会の話です。成長に欠かせない素直さについて話をしています。

4. 進む角度を「1度」変えてみる

人生において挫折はつきもので、「人生を豊かにして、喜びを与えてくれるもの」だと思っています。挫折を経験したのなら、また挑戦すればいい。人生はその繰り返しです。

ここで覚えておいてほしいのは、多くの人がその挑戦をとても大きなものと考えていることです。1度の角度でもいいから、自分の取り組みを変えてみる。いきなり30度も45度も変えようとするから、難しくなるんです。小さな1度が、1か月後、6か月後、1年後には大きな違いになります。

中学生であれば、「毎朝自分で起きる」、野球部員であれば、「素振りを毎晩10本やる」でもいいかもしれません。

自分が続けられることに対して、コツコツと真摯に取り組んでみてください。そのうえで、最後は気合いと根性とガッツです。

中学生も高校生も、多くの夢と希望を持てる年代です。「自分ができる」と自信を持って、目標に突き進んでください。

須江航

仙台育英学園高等学校教諭 硬式野球部監督

1983年4月9日生まれ、埼玉県鳩山町出身。小中学校では主将、遊撃手。仙台育英では2年秋からグラウンドマネージャーを務めた。3年時には春夏連続で記録員として甲子園に出場しセンバツは準優勝。八戸大では1、2年時はマネージャー、3、4年時は学生コーチを経験。卒業後、2006年に仙台育英秀光中等教育学校の野球部監督に就任。公式戦未勝利のチームから5年後の2010年に東北大会優勝を果たし全国大会に初出場した。2014年には全国中学校体育大会で優勝、日本一に。中学野球の指導者として実績を残し、2018年より現職。19年夏、21年春にベスト8。就任から5年後の22年夏。108年の高校野球の歴史で東北勢初の優勝を飾った。

書籍情報

『仙台育英 日本一からの招待』

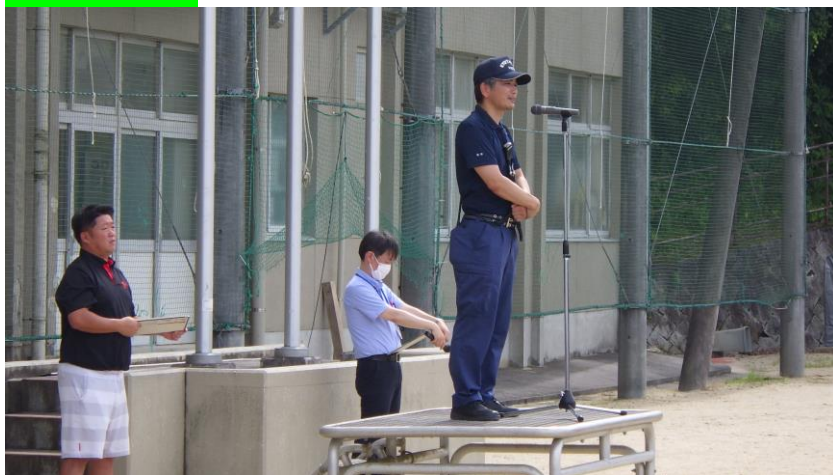
本日より三者面談が始まります！担任の先生と短い時間ではありますが、自分を振り返れる貴重な時間です。ご家庭での様子も聞かせて下さい。

1 週間の様子

PTA 登校指導の様子

月に一回実施されている登校指導。地域委員の保護者の方、ありがとうございます。しっかりと交通ルールは守れていたでしょうか。お陰様で、ここまで大きな事故は起こっていません。しかし6月には残念ながらヘルメット、交通ルール、マナーの違反が見られました。（地域の方々から情報提供がありました）違反するのは全体のほんの一部の人で多くの人はしっかりとルールを守れているので非常に残念です。しっかりとした行動をしていきましょう！

避難訓練



水曜日今年度初めての避難訓練が実施されました。京田辺市消防本部と連携して行いました。署員の方から大変すばらしかったとお褒めの言葉を頂きました。どの生徒も地震後机の中にしっかりと身を隠せていました。何よりも全生徒ができるということが素晴らしいと評価を頂きました。『一人ぐ



らい、いいじゃないか』でなく、その一人の軽率な行動で全体に影響を及ぼすこともこういった災害時にはあり得ます。迅速かつ適切な行動を心掛け。『自分の命を大切に』していきましょう。